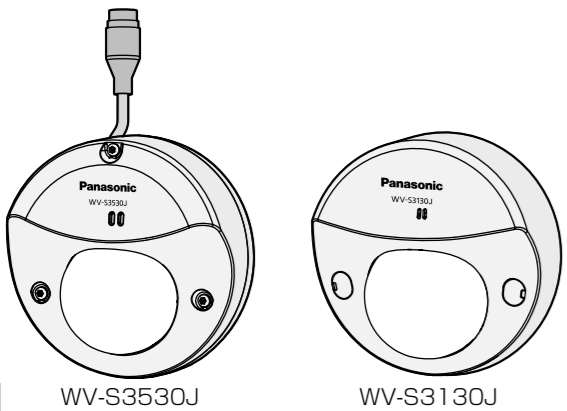


ネットワークカメラ

品番 **WV-S3530J / WV-S3510J**
WV-S3130J / WV-S3110J



保証書別添付

本機に関する基本的な内容については、付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」を参照してください。本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法については以下のパナソニックサポートウェブサイト内（取扱説明書掲載ページ）の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。
https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に付属の「ご使用前に」の「安全上のご注意」（13～16ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019 avs1018-1109 PGQX2272YA Printed in China

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限りです。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
*携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、CD-ROM 内の取扱説明書 基本編、パナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 操作・設定編の「故障かな!？」で症状を確かめてください。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「はじめにお読みください」(Readme.txt)をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは	●製品名 ネットワークカメラ
「故障かな!？」(付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。	●品番 WV-S3530J / WV-S3510J WV-S3130J / WV-S3110J
	●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用	*補修用性能部品の保有期間 7年
部品代	部品および補助材料代	当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。
出張料	技術者を派遣する費用	

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

- S3530 : WV-S3530Jで使用可能な機能
- S3510 : WV-S3510Jで使用可能な機能
- S3130 : WV-S3130Jで使用可能な機能
- S3110 : WV-S3110Jで使用可能な機能

* ●XXXX : 屋外モデル ●XXXX : 屋内モデル

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。
●取扱説明書 設置編（本書）：設置手順、取り付け、ケーブルの接続と画角の調整について記載しています。
●取扱説明書 基本編（CD-ROM内）：本機に関する基本的な内容（設置上のお願ひ、各部の名前など）を記載しています。
●取扱説明書 操作・設定編（パナソニックサポートウェブサイト内）：本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載しています。

メモ
●製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。
●本書内で使用している「<管理番号：Cxxxx>」は、パナソニックサポートウェブサイト内で検索時に使用していただき、該当する情報へご案内するための番号です。

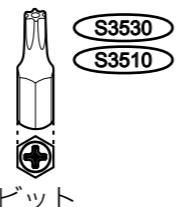
付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編（本書）.....	1冊	CD-ROM ^{*1}	1枚
ご使用前に.....	1冊	コードラベル ^{*2}	1枚
保証書.....	1冊		

*1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
*2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようご注意ください。

以下の付属品は取付工事に使用します。

型紙.....	1枚	S3530	S3510
ビット（六角対辺6.35 mm T10）.....	1個		
RJ45防水コネクターカバー.....	1個		
RJ45防水コネクターキャップ.....	1個		



設置の前に

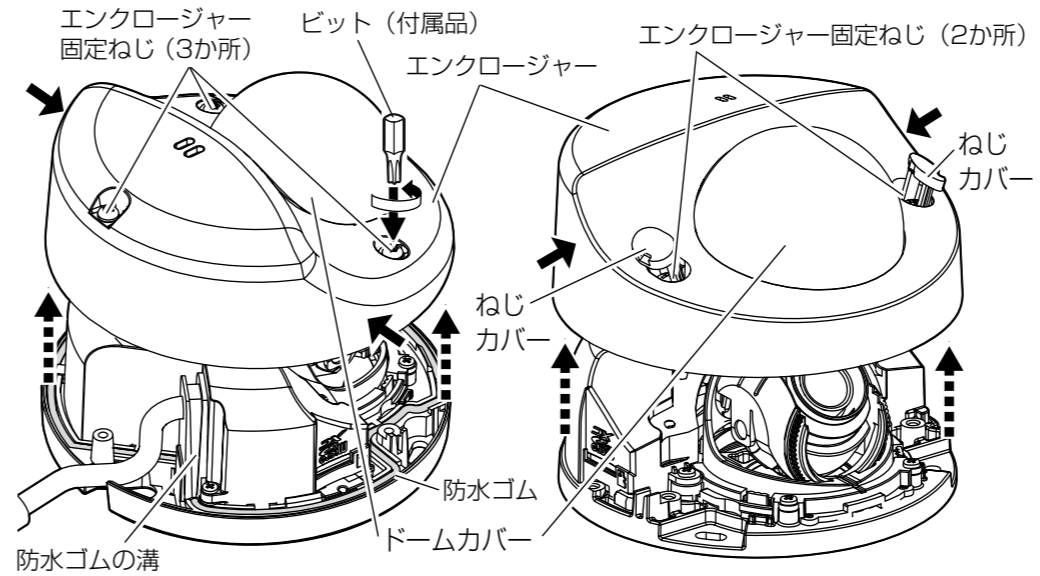
付属品以外に必要なもの

■カメラを天井または壁面に取り付ける方法には、次の方法があります。それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。

取付方法	取付ねじ/アンカー
カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合	M4/3本
スイッチボックスなどに取り付ける場合 S3530 S3510 ※スイッチボックス用のカバー（別途調達）を取り付ける場合は、スイッチボックスの形状に合った金属製のカバーをご用意ください。	M4/2本

エンクロージャーを取り外す

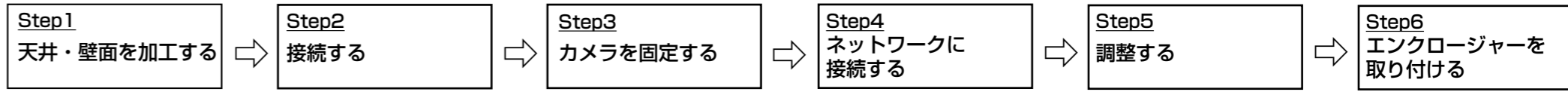
- S3530 ●S3510
 - ①ビット（付属品）を使用して、エンクロージャー固定ねじ（3か所）を緩める。
 - ②エンクロージャーの両側を持って取り外す。
 - ③ドームカバー内側の緩衝材を取り外す。
- S3130 ●S3110
 - ①マイナスドライバーでねじカバー（2か所）を開けて、プラスドライバーでエンクロージャー固定ねじ（2か所）を緩める。
 - ②エンクロージャーの高側を押さえて取り外す。
 - ③ドームカバー内側の緩衝材を取り外す。



- メモ
 - ドームカバー外側に付いている保護シートは、設置が完了し、エンクロージャーを取り付けるまではがさないでください。
 - ケーブル部分の防水ゴムの溝がエンクロージャーとかみ合っているために、エンクロージャーが取り外しにくい場合があります。 **S3530** **S3510**

設置する

設置工事を 6 ステップで説明します。



●カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。

Step 1 天井・壁面を加工する

【天井または壁に穴をあけて配線する場合】
型紙（付属品）を天井または壁にあて、ケーブル通し穴と取付ねじ穴（3か所）の位置に印を付けて穴をあけます。

【カメラの側面から配線する場合】
型紙（付属品）を天井または壁にあて、取付ねじ穴（3か所）の位置に印を付けて穴をあけます。

- 重要
 - カメラの接続・取り付け作業に入る前に、設置作業中に電源が入らないようにシステムの電源（PoEハブなど）を切断しておいてください。
 - 取付ねじ穴やケーブル通し穴を通して建物など接続先に水が浸入しないように、防水処理をしてください。 **S3530** **S3510**

- メモ
 - 型紙（付属品）は矢印がある面を手前にして使用してください。
 - 天井に設置する場合 型紙の矢印がカメラ正面（レンズ側）の方向を向くようにしてください。
 - 壁面に設置する場合 型紙の矢印が下を向くようにしてください。
 - 既設のスイッチボックスに取り付ける場合は天井・壁面への加工作業は不要です。 **S3530** **S3510**

- 重要
 - 従来機種（WV-SFV130/WV-SFV110/WV-SW155/WV-SW158）との置き換えで、1コ用スイッチボックスに取り付ける場合は、カメラの向きが90° 横向きになりますのでご注意ください。 **S3530** **S3510**
 - 取付ねじ、もしくはアンカーなどの最低引抜強度は1本あたり196 N (20 kgf) を確保してください。
 - ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
 - 石こうボードなど、強度が不十分な取付場所に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

microSDメモリーカードを取り付ける

必要な場合は、microSDメモリーカードを以下の手順で装着してください。 ※イラストはWV-S3130Jの場合で説明しています。

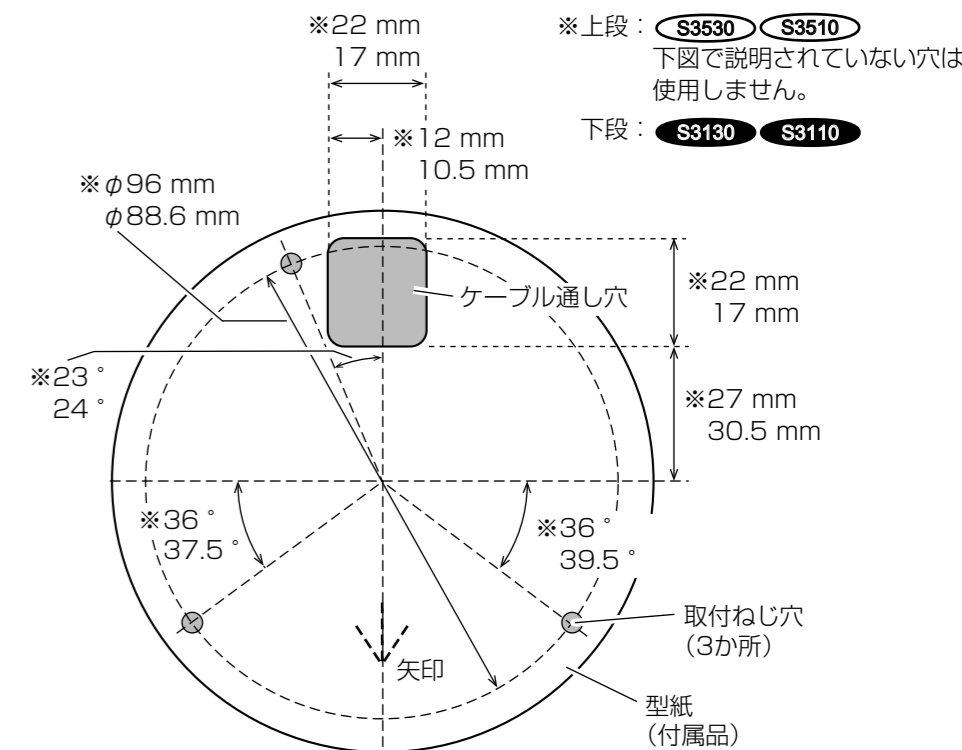
- ①microSDメモリーカードの文字印刷面を上向きにしてmicroSDスロットに挿入する。
- ②microSDメモリーカードをmicroSDスロットの奥まで入るように押し込み、カチッと音がすることを確認する。
- ③カチッと音がした後にmicroSDメモリーカードから指を離して、microSDメモリーカードの後端がmicroSDスロットの表面（microSDのシンボルと同じ面）より飛び出していないことを確認する。

※microSDメモリーカードの取り付け・取り外しについては付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」を参照してください。

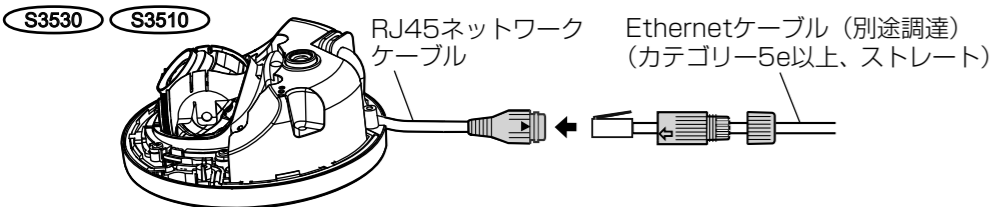
側面ケーブル通し穴を加工する **S3130** **S3110**

天井または壁面に直付けでケーブルを露出配線するときは、エンクロージャーの側面ケーブル通し穴を加工して側面からケーブルが出るようにしてください。

- 重要
 - けが防止およびケーブル保護のため、カットした部分がエッジにならないようにヤスリなどで仕上げてください。

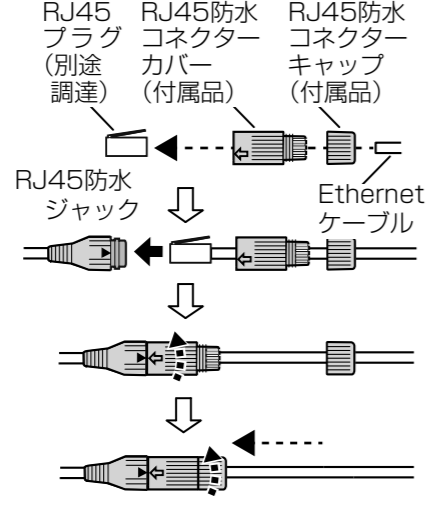


Step2 接続する



RJ45ネットワークケーブルとEthernetケーブルを接続する。

- ① EthernetケーブルにRJ45防水コネクタキャップ (付属品)、RJ45防水コネクタカバー (付属品) の順に通し、専用工具 (別途調達) で、先端にRJ45プラグ (別途調達) をかしめる。
 - RJ45防水コネクタカバー内部のゴムは外さないように注意してください。
- ② RJ45プラグをカメラ側のRJ45防水ジャックに挿し込む。
- ③ RJ45防水コネクタカバーをRJ45防水ジャックに挿し込み、「 ∇ 」マークが合うまで回転させる。
- ④ RJ45防水コネクタキャップをRJ45防水コネクタカバーとの隙間がなくなるまで回転させて固定する。



重要

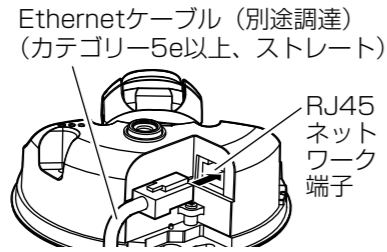
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでで、外形は $\phi 5$ mm $\sim\phi 6.5$ mmです。
- RJ45防水コネクタ (付属品) 部分を手順に従って正しく組み立てていない場合は十分な防水機能が発揮できません。また、RJ45防水コネクタ部分を雨や水が常にかかる場所に設置しないでください。
- RJ45防水コネクタを外す場合は、必ずRJ45防水コネクタキャップを先に緩め、RJ45防水コネクタカバーを取り付けと逆方向に回転させてください。(RJ45防水コネクタカバーの「 ∇ 」マークがRJ45防水ジャックの「 \blacktriangleright 」マークに合った状態でRJ45防水コネクタカバーを外そうとすると、RJ45防水ジャック部分が破損する場合があります)

S3130 S3110

RJ45ネットワーク端子とEthernetケーブルを接続する。

重要

- Ethernetケーブルの最大長は100 mです。

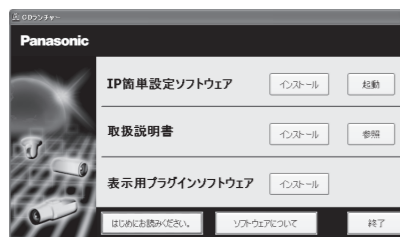


Step4 ネットワークに接続する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。カメラの設定が終わったら元の状態に戻してください。ネットワークの設定を行うための情報は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

[1] 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットする。

- 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します。」を選択し、[OK] をクリックします。
- ⇒ CDランチャーメニューが表示されます。



メモ

- CDランチャーメニューが表示されないときは、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。
- CDランチャーの詳細については、パナソニックサポートウェブサイト内 (取扱説明書掲載ページ) の「取扱説明書 操作・設定編: CD-ROMを使用する」を参照してください。

[2] IP簡単設定ソフトウェアの [起動] をクリックする。

⇒ [Panasonic IP 簡単設定ソフトウェア] 画面が表示されます。見つかったカメラのMACアドレスや IPアドレスなどの情報を表示します。

[3] 設定するカメラを選択 (①) し、[ネットワーク設定] (②) をクリックしてカメラのネットワーク設定を変更した後に、[カメラ画面を開く] (③) をクリックする。

メモ

- 設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカメラをクリックしてください。



Step3 カメラを固定する

[1] カメラを固定する。

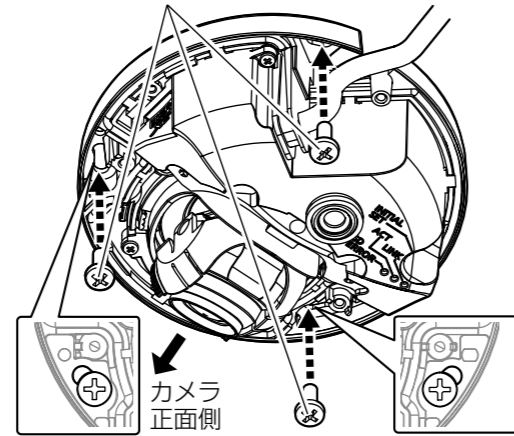
- 天井または壁に直接取り付けの場合
 - 取付ねじ3本 (M4: 別途調達) で固定する。
 - 最低引抜強度: 196 N {20 kgf} /1本あたり

重要

- レンズ部に触れないようにしてください。
- 取付ねじ (別途調達) を締め付ける際にはケーブルを巻き込まないように注意してください。

S3530 S3510

取付ねじ3本 (M4: 別途調達)



※レンズ側の取付ねじ2本は長穴のカメラ正面側を使って固定してください。

2コ用スイッチボックスを使用する場合

S3530 S3510

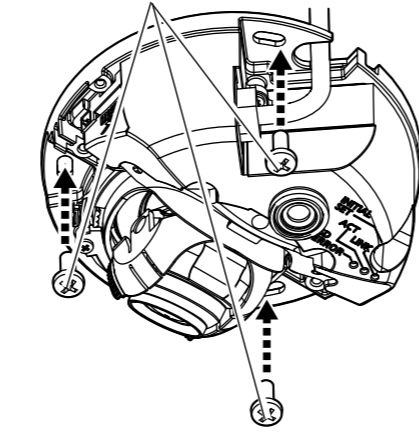
取付ねじ2本 (M4: 別途調達) で固定する。(例: パナソニック株式会社 品番: DS4912)

重要

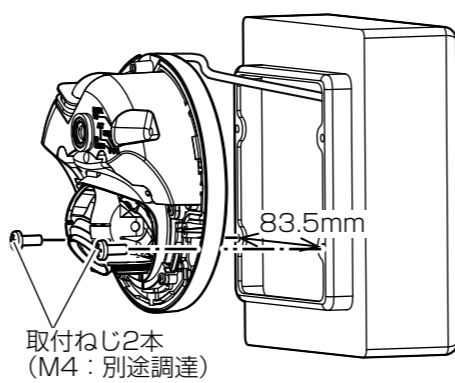
- 取付ねじ2本 (M4: 別途調達) は使用する2コ用スイッチボックスのねじ穴仕様に合わせてご用意ください。

S3130 S3110

取付ねじ3本 (M4: 別途調達)



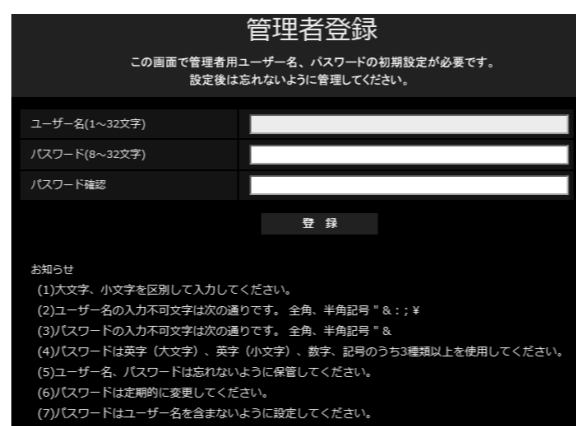
※スイッチボックスの形状はイメージです。



[2] カメラの固定が完了したら、システムの電源 (PoEハブなど) を入れる。

[4] 管理者登録画面が表示されたら、画面に従って管理者のユーザー名、パスワード、パスワード確認を入力し、[登録] ボタンをクリックする。

登録したユーザー名、パスワードは第三者の目に触れないように大切に保管してください。登録完了後、カメラに自動で再接続し、認証画面が表示されますので、登録したユーザー名、パスワードを入力してください。ユーザー認証の初期値は「0n」です。詳しくはパナソニックサポートウェブサイト内 (取扱説明書掲載ページ) の「取扱説明書 操作・設定編: はじめに」を参照してください。



重要

- インターネット経由でご使用の場合、ユーザー認証を「Off」にすると第三者による意図しないアクセスのおそれがあります。ユーザー認証は「0n」のままご使用ください。

[5] カメラのライブ映像が表示されたら、ネットワークの接続は完了です。

メモ

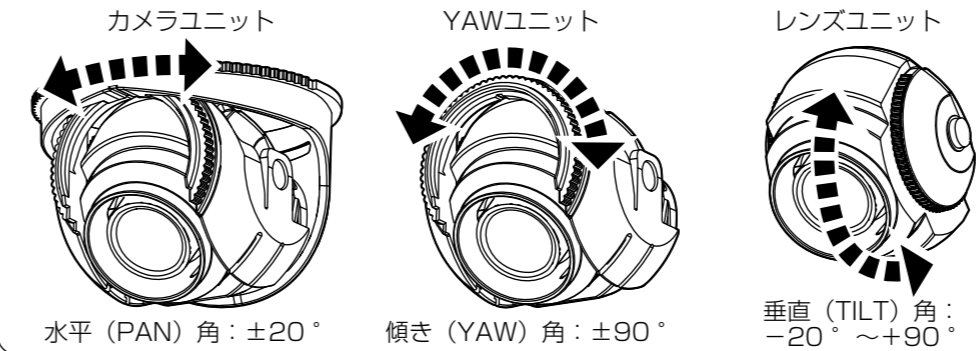
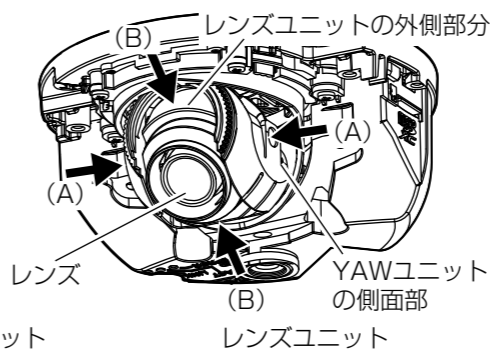
- 以下の内容の詳細についてはパナソニックサポートウェブサイト内 (取扱説明書掲載ページ) の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。
- カメラを使用する前に、設定メニューの [基本] ページで [日付時刻] の設定を行ってください。
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされていないPCでは、H.265 (またはH.264)、MJPEGの表示や音声の受話、ログ表示、全画面表示を行えません。必要な場合はライブ画面の [プラグインソフトウェア] ボタンをクリックしてインストールしてください。
- ご使用のPCの環境によっては映像が出るまでに時間がかかることがあります。
- お買い上げ時、音声モードは「Off」に設定されています。必要な場合は設定メニューの「音声」ページで設定を行ってください。
- IP 簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります (IP簡単設定の有効期間の設定が「20 分間」の場合)。ただし、初期状態のカメラは約20 分経過後も変更することができます。

画像が表示されない場合は、ウェブブラウザを互換表示に設定してください。設定方法については、以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html> <管理番号: CO104>

Step5 調整する

カメラの画角を調整する

- YAWユニットの側面部 (A) を指でつまみ、水平 (PAN) 角と傾き (YAW) 角を調整します。
 - レンズユニットの外側部分 (B) を指でつまみ、垂直 (TILT) 角を調整します。
- ※イラストはWV-S3130Jの場合で説明しています。



Step6 エンクロージャーを取り付ける

S3530 S3510

[1] エンクロージャーを取り付ける。

- ① エンクロージャー内側のレール部分が、カメラ本体の防水ゴムの溝に合うようにエンクロージャーを挿入する。
- ② エンクロージャー固定ねじ (3か所) をビット (付属品) を使って締め付ける。

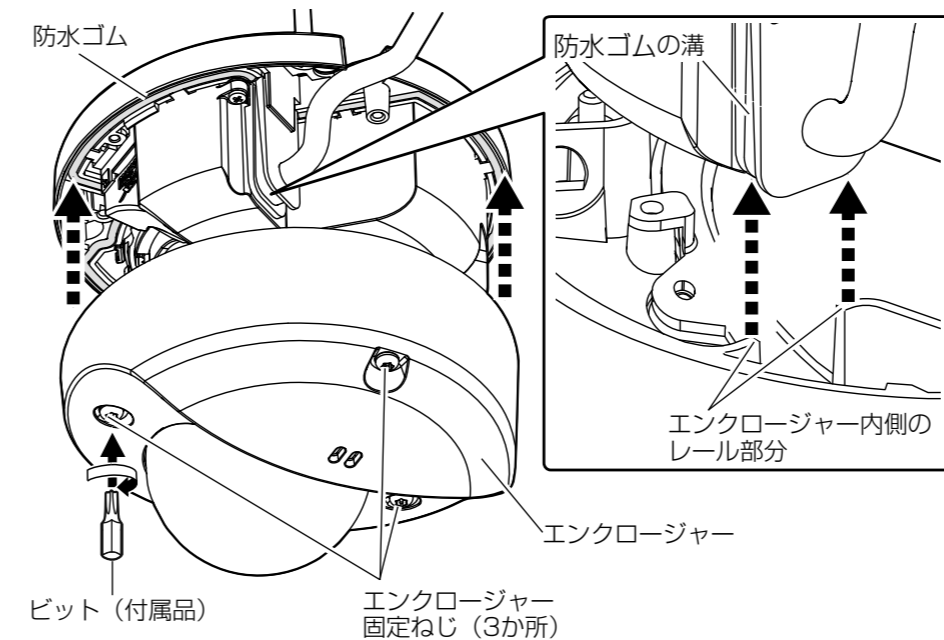
重要

- カメラ本体周囲の溝に取り付けている防水ゴムが、溝から外れていないことを確認し、エンクロージャーを取り付けてください。
- エンクロージャーをカメラ本体に対してまっすぐに取り付けてください。傾いた状態で取り付けると、ドームカバーの内側がカメラユニットにぶつかり、設定した画角がずれることがあります。
- エンクロージャーの固定ねじは3か所すべて確実に締めてください。浸水による故障や落下事故の原因になります。(推奨締付トルク: 0.8 N · m {8.2 kgf · cm})

[2] ドームカバーの保護シートをはがす。

重要

- ドームカバーの保護シートをはがしたあとは、ドームカバーを直接触らないでください。



重要

- 調整の際にカメラのレンズに手が触れないようにしてください。

メモ

- 壁面設置の場合、初期状態では映像の上下が逆転しています。設定メニューの「画像回転」を「180° (上下反転)」に設定すると映像表示が正転されます。設定メニューの「画像回転」の設定方法については、パナソニックサポートウェブサイト内 (取扱説明書掲載ページ) の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。
- 画角の調整結果によっては、上下左右の端に本体が映り込む場合があります。
- 画角を望遠側に調整したい場合は、EXズームを使用してください。EXズームの設定方法については、パナソニックサポートウェブサイト内 (取扱説明書掲載ページ) の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。
- 解像度をVGA (640x480) 以下に設定している場合は、画質が劣化することなく画角を望遠側に調整することができます。
- 解像度をVGAより上に設定している場合は、EXズームの倍率によって画質が劣化することがあります。
- カメラの正面から強い光に照らされると、レンズのシレットが画面に映る場合があります。そのときはカメラの向きを調整してください。

S3130 S3110

[1] エンクロージャーを取り付ける。

- ① エンクロージャー内側のフックがカメラ本体の凹部分にかかるようにエンクロージャーを挿入する。
- ② エンクロージャー固定ねじ (2か所) をプラスドライバーで締め付ける。
- ③ ねじカバーを開める。

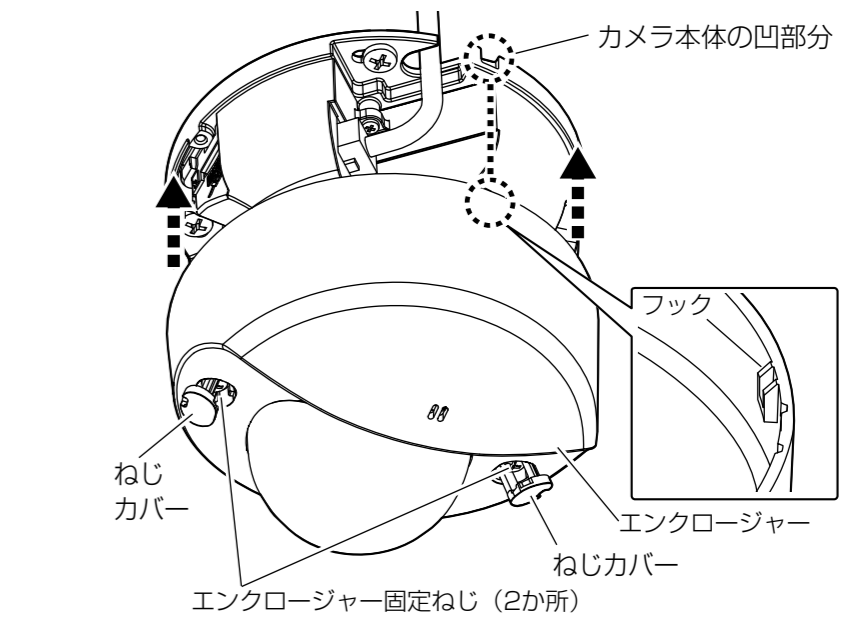
重要

- エンクロージャーをカメラ本体に対してまっすぐに取り付けてください。傾いた状態で取り付けると、ドームカバーの内側がカメラユニットにぶつかり、設定した画角がずれることがあります。
- エンクロージャー固定ねじは2か所すべて確実に締めてください。落下事故の原因になります。(推奨締付トルク: 0.4 N · m {4.1 kgf · cm})

[2] ドームカバーの保護シートをはがす。

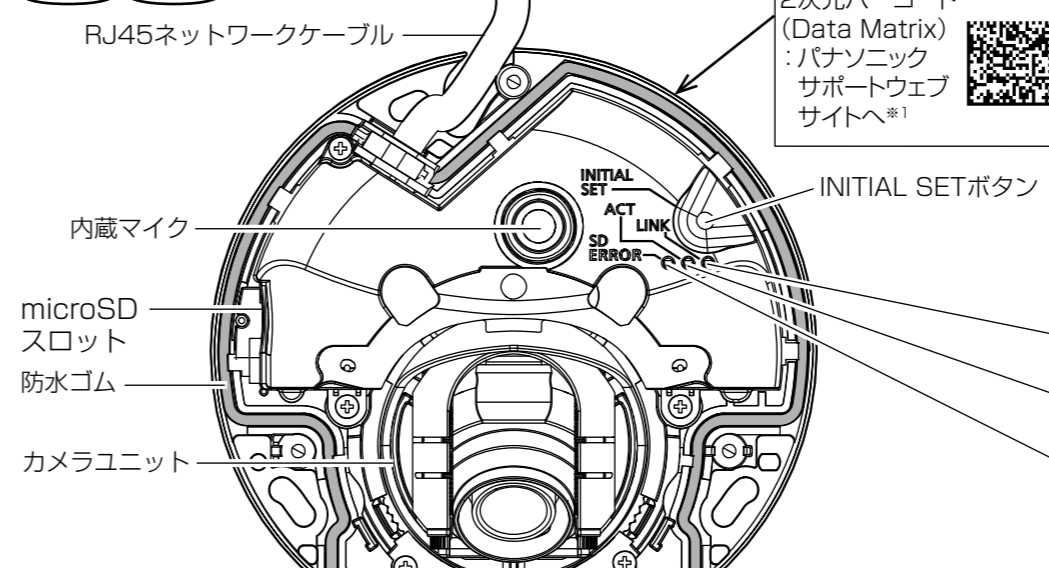
重要

- ドームカバーの保護シートをはがしたあとは、ドームカバーを直接触らないでください。



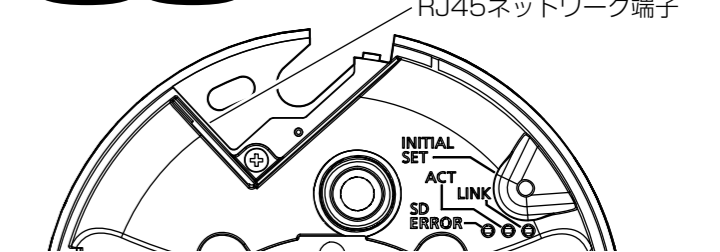
各部の名前

S3530 S3510



※1 読み取りアプリケーションによってはうまく読み取れない場合もあります。そのときはURL (https://security.panasonic.com/support/qr_sp_select/) を直接入力してください。

S3130 S3110



- LINKランプ**
 - 接続機器と通信可能になったとき
- ACTランプ**
 - ネットワークカメラがデータ送受信時
- SD ERRORランプ**
 - 本機が起動中
 - 正常にmicroSDメモリーカードが認識された場合
 - 起動後microSDスロット未使用もしくはmicroSDメモリーカード異常が検出された場合

- 橙点灯
- 緑点滅 (アクセス中)
- 赤点灯
- 赤点灯→消灯
- 赤点灯→赤点灯のまま